

# おぢや

# 市議会だより



OJIYA CITY ASSEMBLY

NO. 60

23.4.25

編集発行  
小千谷市議会  
☎83-3505

## 時水清掃工場の概要

所在地 小千谷市大字時水1937番地1  
敷地面積 7,816㎡  
建築面積 2,229㎡  
(鉄筋コンクリート造及び鉄骨造)  
竣工 平成2年2月20日  
排ガス高度処理等竣工  
平成14年3月8日  
焼却能力 60t/24hが2基



## 時水清掃工場

4月1日より「ごみ処理有料化」が実施されました。

時水清掃工場は「燃やすごみ」の焼却施設です。

平成14年3月に改修され、高性能な有害ガス除去装置、活性炭供給装置及びバグフィルタの設置により、排ガス中の「塩化水素」、「ばいじん」及び「ダイオキシン」の発生防止につとめ、工場から出る「排水」は、工場内で再利用し、「ごみの臭気」は焼却炉の熱で分解して無臭化を図っています。

この時水清掃工場の延命化のために、「ごみ」の減量と正しい分別に取り組みましょう。

- 第1回臨時会議決結果 …… P2
- 第1回定例会議決結果 …… P2~3
- 常任委員会報告 …… P3~5
- 一般質問 …… P5~7
- 議会日誌 …… P7~8
- 雪あかり、編集後記 …… P8

—主な掲載内容—



このたびの東日本大震災により  
被害を受けられた皆様に心より  
お見舞い申し上げ、一日も早い  
復旧・復興をお祈りいたします。

### 小千谷市議会

## 平成二十三年小千谷市議会 第一回臨時会 議決結果

- 平成二十二年度小千谷市一般会計補正予算（第五号）  
（全会一致）
- 第一回臨時会は一月十八日に開催され、国の補正予算の成立に伴う事業等の予算の補正が可決されました。

## 平成二十三年小千谷市議会 第一回定例会 議決結果

- 小千谷市簡易水道事業の廃止に伴う関係条例の整理に関する条例（全会一致）
- 小千谷市課設置条例及び小千谷市総合計画審議会条例の一部を改正する条例（全会一致）
- 小千谷市民の家条例の一部を改正する条例（全会一致）
- 小千谷市ホームヘルパー派遣に伴う費用徴収条例の一部を

### 条例の制定・改正・廃止

- 改正する条例（起立多数）
- 小千谷市子どもの医療費助成に関する条例の一部を改正する条例（全会一致）
- 小千谷市総合産業会館サンプル条例の一部を改正する条例（全会一致）
- 小千谷市企業立地促進条例の一部を改正する条例（起立多数）
- 小千谷市営住宅条例の一部を改正する条例（起立多数）

### 新年度予算

- 小千谷市一般会計予算（起立多数）
- 小千谷市国民健康保険特別会計予算（起立多数）



- 小千谷市介護保険特別会計予算（起立多数）
- 小千谷市後期高齢者医療特別会計予算（起立多数）
- 小千谷市工業団地事業特別会計予算（全会一致）
- 小千谷市ガス事業会計予算（全会一致）
- 小千谷市水道事業会計予算（全会一致）
- 小千谷市工業用水道事業会計予算（全会一致）
- 小千谷市下水道事業会計予算（全会一致）

### 平成二十二年度予算の補正

- 小千谷市一般会計補正予算（第七号）（全会一致）
- 小千谷市国民健康保険特別会計補正予算（第三号）（全会一致）
- 小千谷市老人保健特別会計補正予算（第二号）（全会一致）
- 小千谷市水道事業会計補正予算（第二号）（全会一致）
- 小千谷市工業用水道事業会計補正予算（第二号）（全会一致）
- 小千谷市下水道事業会計補正予算（第二号）（全会一致）

## その他

- 専決処分（平成二十二年度小千谷市一般会計補正予算（第六号））（全会一致）
- 小千谷市財政調整積立金の処分（全会一致）
- 新潟県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更（起立多数）
- 小千谷市の公の施設（住民センター）の指定管理者の指定（全会一致）
- 同（吉谷トレーニングセンター）（全会一致）
- 同（総合福祉センター）（全会一致）
- 同（地域福祉センター及びびく雪管理センター）（全会一致）
- 同（障害者支援センター）（全会一致）
- 同（マウントパーク鏡池）（全会一致）
- 同（真人ふれあい交流館）（全会一致）
- 同（総合産業会館サンプラザ及び錦鯉の里）（全会一致）
- 同（駐車場）（全会一致）
- 小千谷市固定資産評価審査委員会委員の選任（全会一致）
- 高齢者・国民が安心して医療



や介護が受けられるような施策推進の意見書を国に提出することを求める請願

（起立少数）

● 「容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再利用を促進するための法律の制定を求める意見書」の採択を求める請願（全会一致）

## 発議

● 小千谷市議会議員定数条例の一部を改正する条例

（賛成多数）

● 小千谷市議会委員会条例の一部を改正する条例（賛成多数）

● 容器包装リサイクル法の見直し等を求める意見書（全会一致）

## 許可

● 宮崎悦男議員の辞職許可（全会一致）

## 議会中継

市議会本会議は市ホームページからインターネット中継でご覧いただけます。

URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp>

第2回定例会からは録画中継もご覧いただけるようになります。

（本会議開催日のおおむね5日後から、翌定例会の初日の前日まで）

## 三常任委員会報告

### 総務文教委員会

本委員会に付託されました議案六件について、報告申し上げます。

二月二十八日、三月一日、二日及び三日の四日間にわたり開催し、関係課長等の出席を求め、

慎重に審査を行い、原案のとおり可決すべきものと決しました。なお、審査の方法で議案第二十号及び第二号については、土木委員会及び産業経済委員会との三常任委員会の連合審査会としました。

○議案第十三号 小千谷市課設置条例及び小千谷市総合計画審議会条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、行政組織の見直しに伴う改正です。

○議案第十四号 小千谷市民の家条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、市外の者の使用料の割増の廃止と還付条件の緩和を行うための改正です。

○議案第二十号 平成二十二年度小千谷市一般会計補正予算（第七号）について

今回の補正は、歳入歳出それぞれ三億三千三百八十万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ百九十三億八千三百三十三万五千円とするものです。

○議案第二号 平成二十三年度小千谷市一般会計予算について  
予算総額は歳入歳出それぞれ百七十五億三千万円で、前年度比〇・九%の減です。

本案は、歳入面では市税の増を見込んだものの、平成二十一年度以前の決算額を依然として大きく下回る状況にあり、財政調整基金からの繰入金により必要な財源を確保しています。

歳出においては、小千谷小学校改築事業の終了による減額はあるものの、安心安全のまちづくりなど、総合計画に掲げた目標達成のため及び必要性、緊急性、実効性の高い事業に重点的に配分を行う、とするものです。

○議案第二十八号 小千谷市の公の施設（住民センター）の指定管理者の指定について

○議案第二十九号 同（吉谷トレーニングセンター）

以上二議案は指定管理者の指定の期間の満了に伴い、再指定するものです。





## 社会土木委員会

本委員会に付託されました議案十一件を慎重に審査し原案ど

おり可決すべきものと決しました。請願二件のうち一件は異議なく採択し、一件については採

択しないものと決しました。

○議案第十五号 小千谷市ホームヘルパー派遣に伴う費用徴収

条例の一部を改正する制定について

本案は、国の実施要綱の改正に伴う改正です。

○議案第十六号 小千谷市子どもの医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

新潟県の補助金交付要項の統廃合等に伴う条例改正です。

○議案第十九号 小千谷市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について

本案は定住促進住宅を廃止したいというものです。

○議案第二十一号 平成二十二年小千谷市国民健康保険特別会計補正予算(第三号)について

本案は、電算システム分担金の確定及び保険給付費の不足による増額補正です。

○議案第二十二号 平成二十二年小千谷市老人保健特別会計補正予算(第二号)について

本案は、特別会計を廃止するための精算を目的とした補正です。

○議案第三号 平成二十三年小千谷市国民健康保険特別会計予算について

前年度に比較して一・九%の増となっており、歳入歳出予算の総額をそれぞれ三十六億八千二百八十一万一千円とするものです。

○議案第四号 平成二十三年小千谷市介護保険特別会計予算について

前年度に比較して〇・八%の増となっており、歳入歳出予算の総額をそれぞれ三十四億九千二百九十九万九千円とするものです。入所者が選択できるような個室型、多床型併設での施設整備に対する意見がありました。

○議案第五号 平成二十三年小千谷市後期高齢者医療特別会計予算について

前年度に比較して〇・八%の減となっており、歳入歳出予算の総額をそれぞれ七億一千四百九十五万八千円とするものです。

○議案第三十号 小千谷市の公

の施設(総合福祉センター)の指定管理者の指定について

○議案第三十一号 同(地域福祉センター)及び克雪管理センター)

○議案第三十二号 同(障害者支援センター)

以上三議案は、指定管理者の指定の期間の満了に伴い、再指定するものです。

○請願第一号 高齢者・国民が安心して医療や介護が受けられるような施策推進の意見書を国に提出することを求める請願について

本請願は採択しないものと決しました。

○請願第二号 「容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書」の採択を求める請願について

本請願は採択すべきものと決しました。

## 産業経済委員会

本委員会に付託されました議案十五件について慎重に審査し、

原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議案第十二号 小千谷市簡易水道事業の廃止に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

塩殿地区の簡易水道事業を上水道事業に統合することによる関係条例を整理するものです。

○議案第十七号 小千谷市総合産業会館サンプラザ条例の一部を改正する条例の制定について

サンプラザの利用促進を高めるため、営利目的等で利用する大ホール等の割増料金を廃止するものです。

○議案第十八号 小千谷市企業立地促進条例の一部を改正する条例の制定について

奨励措置の指定基準を見直し、企業活動の活性化を図るための改正です。

○議案第二十三号 平成二十二年小千谷市水道事業会計補正予算(第二号)について

○議案第二十四号 平成二十二年小千谷市工業用水道事業会計補正予算(第二号)について

○議案第二十五号 平成二十二年小千谷市下水道事業会計補正予算(第二号)について

以上三議案は、企業債の借り換えに伴う補正です。

○議案第六号 平成二十三年小千谷市工業団地事業特別会計予算について

前年度に比較して六十九・五%の減となっており、歳入歳出予算の総額をそれぞれ一千百六十四万四千円とするものです。

○議案第七号 平成二十三年小千谷市ガス事業会計予算について

予算規模で前年度に比較して十三・八%の増額、収益的収入及び支出の収支差引額は一千五十八万四千円を見込んでおり、主要な工事としては、企業需要に対応するため中圧ガス送出ライン設備等の改造工事や耐震化を進めるための本支管布設替工事等を予定しています。

○議案第八号 平成二十三年小千谷市水道事業会計予算について

予算規模で前年度に比較して四・一%の増額、収益的収入及び支出の収支差引額は九千五百八十八万六千円を見込んでおり、主要な工事としては、船岡山配



水池の長寿命化工事や配水管の耐震化を進めるための布設替工事等を予定しています。

○議案第九号 平成二十三年度小千谷市工業用水道事業会計予算について

予算規模で前年度に比較して三十九・〇%の減額、収益的収入及び支出の収支差引額は二百八十七万七千円を見込んでおり、主要な工事としては、横流式沈殿池の点検修繕工事や送水用残留塩素計の更新工事等を予定しています。

○議案第十号 平成二十三年度小千谷市下水道事業会計予算について

予算規模で前年度に比較して九・一%の増額、収益的収入及び支出の収支差引額は四千八百二万八千円を見込んでおり、主要な工事としては、汚水管渠及び公共併設置工事やマンホールポンプ取替工事等を予定しています。

○議案第三十三号 小千谷市の公の施設(マウントパーク鏡池)の指定管理者の指定について

○議案第三十四号 同(真人ふれあい交流館)

○議案第三十五号 同(総合産業会館サンプラザ及錦鯉の里)

○議案第三十六号 同(駐車場) 以上四議案は、指定管理者の指定の期間の満了に伴い、指定管理者を再指定するものです。

### 会議録の閲覧

市議会本会議の会議録(平成15年第1回定例会以降)は市ホームページからご覧いただけます。ただし、平成23年第1回定例会の会議録掲載は、5月末頃となります。

URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp>

## 市政の内容を聞く

# 一般質問

### 今冬の豪雪災害・建設業の弱体化について

安達 稔 議員

#### 質問

今冬の記録的な大雪の中「除雪作業の遅れ」による市民生活の混乱が目立った。市民の多くが高齢化によって、かつてのように屋根雪が下ろせない。また、除雪を担ってきた建設業関係者が長年の建設不況で減少し「災害対応空白地帯」となっている。高齢世帯、空き家の増加など新たな課題が生じている。①市民からはどのような声、要望が寄せられたか。②人的被害はどのようなであったか。③建造物の被害棟数などは。④空き家の数と雪処理の対応は。⑤豪雪災害対策本部としての総括は。

#### 答弁

①雪下ろし依頼先を求める声、交通、歩行者の危険を知らせるものなど。②十七件、内訳は屋根からの落下十件、除雪機操作五件、除雪中の転倒二件。③被害棟数は九棟。④数は把握していない。倒壊や



隣家に危険な状況となった空き家は十三件。所有者が応じてくれなかったものが三件。

⑤社会構造の変化による高齢化、親子関係などの希薄化という問題。

#### 質問

災害復旧には人(オペレーター)・物(重機・資材)・指揮官(経験者)の三点セットが不可欠。この二十年で七百二十人以上のマンパワーが減り、高齢化している。建設業は社会基盤の守り手。どのように認識しているか。

災害対応力の現状、対策。公共施設の改修、耐震化など社会資本の整備を前倒し、継続的実施。地元業者優先の発注は。

#### 答弁

建設業は厳しい状況にあり、災害対応力にも影響してい

### 買い物困難者への支援策・農業振興策は

大平 貢 議員

#### 質問

近年過疎化などで買い物困難者が急増し、社会問題になってきた。

①これを支援する国・県の施策はあるのか。

②当市でも動きがあると聞か

③小美玉市では買い物ツアーを実施して好評。当市も検討を

④食品宅配業者に安否確認を依頼の行政もある。当市も検討を

答弁 ①経済産業省では二十二年度補正予算で買物弱者対策支援事業を制度化し募集したが、市内では申請はなかった。県は二十三年度事業で買い物利便性向上モデル事業を予定。中山間地の移動販売の取組支援が主で、近日市町村等に示される予定。

②市内の一事業者が配食に加え、食料品・日用品を自宅まで配達

の事業に取り組む。市は高齢者

る。公共施設の改修など前倒しで実施するよう努める。地元業者の受注機会の拡大は入札制度の制約の中で最大限の運用を行なう。

のみの世帯にアンケートを実施中。

- ③ 当市でも今後研究する必要性は高くなると考える。
- ④ 当市でも配食等のサービス業者にも安否確認で異常があれば緊急連絡の体制も整えている。



**質問** ① 魚沼米産地が揃って大幅な生産調整増となったが、市長の感想を。

- ② 農業政策で生産高・売上高アップとコスト削減に取り組んでほしい。
- ③ アンテナショップ開設支援とアグリビジネス活性化事業について問う。

**答弁** ① これらの要因として販売実績の減少、景気の低迷で高価格の米が敬遠、他県産のコメが食味や品質面で向上してきた等が考えられる。

② 花巻市の事例は、農家が主体

となり地域の水田農業の再生に向け独自のビジョンづくりで、コストの削減が目的と聞き評価している。市も認定農業者等を中心に意見交換の機会を持ち、JAや関係機関も交え進めて行く。

③ 関係機関とも連携して情報提供やPRなどの支援をしていく。

**病院の統合問題・特別支援学校の誘致について**

田中 淳 議員

**質問** 病院の統合問題について

- ① 統合協議会の経過について。
- ② 病院運営の根幹をなす大学病院の考え方は。
- ③ 現在の統合協議会の進捗状況に対する見解は。
- ④ 二つの病院がそれぞれに望むこと、また当市に望むことは。
- ⑤ 市民への啓発的取組みについては。

**答弁** ① 三月上旬に両理事長と会合を持って、統合協議を継続

② 新潟大学医学総合病院の内山病院長は二つの病院統合は県内のモデルとなる。大学として支援をしていきたい。

③ 良好な統合ができるよう、当市としても鋭意努力していく。

④ 両団体の内部的事項の調整中、具体的な公表は差し控える。

⑤ 医療シンポジウムは平成十九年以来開催されていないが、今後も、医療問題を含め、テーマを絞って講演会を開催していきたい。



**質問** 特別支援学校について

- ① 設置の推進に際し、窓口についての考え方は。
- ② 特別支援学級アシスタントについて。

**答弁** ① 小千谷市として県立特別支援学校の誘致を推進していく窓口は学校教育課であり、障がいのある子供たちの保護者や障害者の会からの協力も必要なことから、社会福祉課とも連携しながら事務を進めたいと考えている。

② 入学児童・生徒の増加にともない、県教育委員会に特別支援学級の増設を要望し、本年2学級が増設となった。児童生徒一人一人の能力に応じたより良い教育の実現のためにも、特別支援学校の設置が望まれる。

**ごみ収集有料化に伴う関連事項について**

佐藤 隆一 議員

今年四月一日から始まるごみ収集有料化に伴って、食品残さの減量運動実施や、ごみの適正処理や不法投棄監視等を町内会に委託し、監視カメラを設置するとしています。個人のモラル向上によってごみ問題に対処しようとしています。現代は大量生産、大量消費社会制度のもとで、大量のごみが排出されます。買った方が安上がりになっており、いかに排出を減らすかが課題です。以下質問します。

- 質問** ① 不法投棄監視、適正処理を委託する町内会に何を期待するのか。
- ② どのような検討結果から分別は従前どおりとしたのか。
- ③ 手数料収入の活用方法は。



④ 生ごみの焼却処理方法を見直す考えはないか。

**答弁** ① 美化活動を町内会に願ひし、環境美化推進運動を実施します。

② 現状の八分類を増やすことに市民の協力を得られるのか。現状の分別をさらに徹底することで減量を進めたい。

③ 製造販売費を除く五〇%を環境美化推進、監視カメラ設置、資源物集団回収、生ごみ処理機購入補助などのリサイクル事業に要する経費に充てたい。

**質問** 生ごみの焼却方法を見直す考えはないことだが、堆肥化だけが資源活用ではない。長岡では家畜の飼料としている例もあるが再度答弁を求めます。

**答弁** 生ごみは家庭処理が原則で処理機補助もあり、市民に方法の強制はできない。

**質問** 市の排出削減の本気度が見えない。助成を大胆にすべき。

**答弁** 市の施策がないわけでは



ない。市と市民が連携して取り組むことが重要と考える。

### 上水道施設の更新のことについて

西沢 代三 議員

**質問** 小千谷市の上水道は昭和三十年四月に創設された。

豊かな信濃川の伏流水を水源にして、計画一日最大給水量四千五百㎡（同給水人口二万四千人）の規模である。

その後、水源のより安定化のため信濃川表流水の許可を求め、これをチャンスに五次の工事をしない、現在の計画給水量二万四千㎡（同人口四万二千人）に拡張された。簡易水道は市営化を奨励、中越大震災の被害も克服し、経営は一般的に堅調である。各施設の更新対応面では長岡、見附、小千谷三市を対象とした上水道広域化促進検討と平行的に、小千谷市独自による更新案（概算事業費五十億円台）で検討されている。その方向性はどうか。

**答弁** 見附市が単独の更新計画を選択したため上水道広域化の検討は後退したが、長岡・小千



谷両市間では引き続き広域化を検討しています。

第四次市総合計画での上水道更新構想では、現浄水場の用地の活用が制約されているので、千谷島に用地を確保するなど平成二十八年に更新して一部供用（同三十四年完成）を検討するなど、この計画では市単独構想を示しています。

安全、安心、安定した信頼される水道の実現を基本として単独整備か、広域整備か、遅くても平成二十四年度までには、更新方針を決定する必要があると考えています。

水道事業は、現在小千谷浄水場で信濃川から安定水利権として直接表流水を取水するほか、

塩殿及び高梨の二箇所効率伏流水を活用しています。

### 国保税軽減、子ども医療費助成拡充など

風間 健一 議員

**質問** 国保税の減免について

小千谷市の国保税は県内一位二位を競う高さです。所得二百万円の世帯の国保税は三十九万円にもなり、『負担の限界』を超えているとは思いませんか。

**答弁** 医療保険制度を維持するには必要な負担であり、必ずしも限界を超えているとは考えません。

**質問** 長岡市は九億三千八百万円を一般会計から繰り入れて国保税の値上げを抑えました。小千谷市も一般会計や基金を使って国保税を一世帯当たり一万円引き下げて頂きたい。

**答弁** 一般会計からの繰り入れや基金を使った国保税の軽減は考えていません。

**質問** 子ども医療費助成の拡充について

小千谷市は、子どもの医療費助成を、入院費は小学六年まで、通院は小学就学前まで（三人以

上の子供と同居の場合は小学六年まで）助成しています。県内で見ると、人数制限をしないで入院も通院も小学校卒業あるいは中学校卒業まで支援している市町村は三十一市町村中一七市町村に及んでいます。通院の助成を小学六年まで拡げて頂きたい。

**答弁** 今のところ考えていません。

**質問** 特養ホームの増設について

特養ホーム入所待機者数は三百八十八名。特養ベッド数は平成二十二年四月から二百二十七床で、絶対的に足りません。その上待機者が増える傾向にあります。民間福祉会と協力して年金で入れる特養ホームの開設をお願いします。

**答弁** 施設については計画的な整備にとめたい。低所得者が入所できるよう、国・県に対して要望していきたい。

### 議会日誌

1月～3月

#### 〈1月〉

- 7日 議会報編集委員会
- 11日 議会運営委員会
- 14日 議会報編集委員会
- 18日 第一回臨時市議会
- ” 議員協議会
- ” 議員全員協議会
- 24日 三条市議会視察に来市

#### 〈2月〉

- 4日 議員協議会
- 7日 県市議会議長会春季定期総会（妙高市）
- 10日 議員共済会代議員会（東京都）
- 16日 議員協議会
- 18日 議会運営委員会
- 25日 第一回定例会（本会議）
- ” 議会報編集委員会
- ” 議員定数等特別委員会
- 28日 三常任委員会連合審査会

#### 〈3月〉

- 1日 三常任委員会連合審査会
- 2日 三常任委員会連合審査会
- 3日 総務文教委員会
- 7日 社会土木委員会
- 8日 産業経済委員会
- 9日 議員定数等特別委員会
- 11日 議会運営委員会

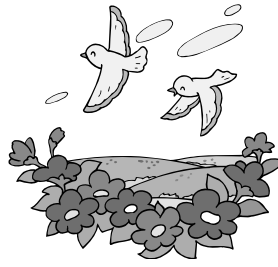


## 第2回定例会開催予定

6月9日(木) 第1日 議案上程説明  
 6月10日(金)～14日(火) 各常任委員会で審査  
 6月21日(火) 第2日 一般質問  
 6月22日(水) 第3日 一般質問  
 (質問者が多い場合に開催)  
 6月24日(金) 最終日 委員長報告、採決

※日程は変更される場合があります。各委員会の日程、議会傍聴については議会事務局(TEL83-3505)へお問い合わせください。

” 本会議(第二日)  
 14日 議員全員協議会  
 15日 議会運営委員会  
 本会議(第三日)  
 ” 議会報編集委員会  
 18日 議会運営委員会  
 本会議(第四日)  
 ” 議会報編集委員会  
 25日 議会報編集委員会  
 30日 議会報編集委員会  
 31日 宮崎悦男議員辞職



対岸の火事のように、かわいそう、大変だねとテレビ画面に見入る。時には不謹慎にも自分達の所でなくて良かったとさえ思う。人の心とは勝手なもので、残酷なものとは反省する。六年前に味わったあの時のことは、決して忘れていないが、その時よりも計り知れない惨事を目の当たりにして、何も出来ない苛立ちと悲しみ。

「死ぬも地獄・生きるも地獄」と言った人の言葉が、耳から離れない。中越大震災では、概ねの復興が出来たことを喜ばねば



山賀 禮子 (城内一丁目)



42

車があんなに軽く、家があれほどもなく、あつという間に破壊される。津波の恐ろしさを嫌というほど見せつけられたました。

ならないだろう。

諸外国が日本に対して温かい心で、支援していることを有り難く思い、平時も同じような関係であつてほしいと思つている。被災された方々は、先の見えない避難生活でさぞかし心細いことと思う。復興までには相当長くかかると思うが、頑張れとはもう言えない。

「朝の来ない夜はない」きつと来る時を信じて、上を、そして前を向いてほしい。

こんな時、テレビ映像で、全員無事に卒業出来た中学校生徒の笑顔に、ホツとした気持ちにさせられた。

この議会報が発行される頃は、議員も新しいメンバーとなつていよう。議会もその役割の中で、危機管理については一層の努力を期待します。



## 編集後記

東日本大震災で多くの方が亡くなられました。衷心よりお悔みを申し上げます。また、被災され、不自由な避難所生活を送られておられる多くの方々によりお見舞い申し上げます。そして、十二日に起きた長野県北部地震で被災された十日町市、津南町、栄村の方々にも心よりお見舞い申し上げます。

今年は一月に入り、毎日雪が降りやまず、災害救助法が適用されました。二月に入り、このまま雪が降り続くとうなるかの心配をよそに、比較的暖かい日が続き、降雪もほとんどありませんでした。このまま春になるかとホツとしていますと、三月に入り、寒の戻りが続いております。

また、三月十一日の午後二時四十六分の東北地方太平洋沖地震では小千谷でも強い横揺れが二分以上続き、船に乗っているような感じを受けた方が多かつたと思います。そして、十二日の午前四時前には強い縦揺れと横揺れで目を覚まされました。市議会議員の任期も四月いっぱいとなりましたが、この任期

は中越沖地震に始まり、東北地方太平洋沖地震で終わるような感じがしております。現在、南相馬市の方が小千谷市に避難されております。この議会日より皆様が届くころには状況が改善され、南相馬市に帰ればと願っておりますが、福島第一原発がどのようになるかが大きな鍵となります。小千谷での避難生活が長引くことのないよう折っております。

私たち小千谷市民も全国の皆様のお力添えにより、現在の生活ができていますと思っております。今回の大震災で被災された方々も必ずや立ち直つていただけることを確信しております。桜の花が咲く暖かい春が一日も早く来ることを祈っております。最後になりますが、四年間、この議会だよりをお読みいただきまして誠にありがとうございました。

編集委員長 吉崎 進  
 副委員長 宮崎 悦男  
 編集委員 本田 剛  
 編集委員 山賀 一雄  
 編集委員 風間 健一  
 編集委員 佐藤 隆一